

## 令和2年度 そがのぞみ保育園 事業報告書

### 【施設運営状況】

○保育目標の大きな三本柱「健康で明るい子ども」「豊かに表現できる子ども」「思いやりのある子ども」を目指し、一人ひとりを大切にしながら心身ともに伸び伸びと、そして安全で健康的な楽しい保育園生活が送れるように努めてきました。

○日頃より安全・防災対策に取り組んでおり、事故や怪我に対する職員の危機意識強化を図るために数多くのヒヤリハットの記入・提出をしています。職員の気付きが事故防止となり、結果大きな事故や怪我がないことに繋がっています。

○ コロナ禍で園外の研修が減る中、保育の質の向上を目指すために、園内研修の充実を図ることで職員の保育に向かう意識向上に努めています。子どもの成長を保育士一人ひとりが語ることが、子どもを観察する目に繋がり、よりよい保育をするためにはどうすれば良いかの疑問を考える機会に繋がるのではないかと考え、トップダウン形式の研修、会議にしないように努力しています。

### 【職員の状況】

職名	令和2年4月1日の職員数				年間退任・就任								令和3年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)							
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正 規 職 員	有期契約職員						計	正 規 職 員	有期契約職員				実 人 員 合 計	常 勤 換 算
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B			契 約 職 員	非常勤A		非常勤B		契 約 職 員			非 常 勤 A	非 常 勤 B	常 勤 換 算			
								就 任	退 任	就 任	退 任							就 任		
責任者	1			1									0	1				1	1	
保育士	2		1	3	2					1	1	4	3			1	0.5	4	3.5	
看護師	1			1								0	0					0	0	
栄養士	1			1								0	1					1	1	
計	5		1	6	2					1	1	4	5			1	0.5	6	5.5	

\* 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

### 【利用者支援状況】

- ・一人ひとりの発達に合ったきめ細やかな援助に努めてきました。
- ・緊急事態宣言発令中に長期家庭保育となった家庭に対して、園との繋がりを感じ、少しでも安定した心の状態が維持できるように子育て通信や手作り玩具とその作り方を郵送するなどの支援を行いました。
- ・新型コロナウイルス感染症予防を考慮して、保育参加期間を長期に設定し、一日一組の保護者に来園していただいたことで日々の様子や成長を丁寧に伝えることができました。

- ・合同保育を行ってきたことで異年齢の関わりが深まり、年下の子に対する思いやりの気持ちが育ち、保育者も異年齢保育の良さを感じることができています。
- ・食への興味を育てることを目標に、野菜を育てて味わうことを積極的に行ってきました。毎回とても喜んで食材に触れ、「食べる」ことへの意欲に繋がっています。

【利用者状況推移】(各年度4月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	計
平成31年度	0	8	8	16
令和2年度	0	4	8	12

【主なできごと】

年間行事 別途添付

【その他について】

安全管理

- 防災訓練 毎月1回 避難訓練、消火訓練を実施しました。
- 防犯訓練 防犯訓練を年1回実施しました。
- 健康管理 嘱託医による園児の健診、職員の定期診断及び職員の細菌検査を毎月実施しました。  
 なおノロウイルスの警戒時期(10~3月)には調理職員を対象にノロウイルス検査を実施しました。  
 健康管理には最善の注意を払い、感染症については早急にお知らせを出しました。  
 主に新型コロナウイルス感染症防止対策強化に努めてきました。

〔新型コロナウイルス感染症防止対策〕

玄関や廊下に手指消毒液を常備し、保護者へも使用を促しました。  
 園児と職員は毎日健康観察票の記入提出をし、体調の変化について把握をしてきました。職員は保育中常にマスクを着用し、保育室外で食事をしています。  
 玩具や部屋の消毒をこまめにしました。  
 県より更新される警戒レベル・行動制限について掲示等し、感染防止の啓発に努めています。

- 衛生管理 室内の清掃や玩具の消毒を徹底しました。
- 安全管理 毎朝、安全点検を行いました。

研修会実施状況

別途添付

事業苦情 0件